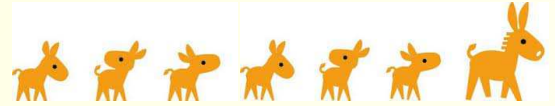


認知症地域支援推進員だより～第11号～

発行 令和8年2月 発行者 児島・添田

「令和7年度伊佐市認知症講演会」を開催



令和7年11月2日に菱刈環境改善センターにて、認知症疾患医療センター「あいらの森ホスピタル」センター長の永田智行先生を講師にお招きし、軽度認知障がい（MCI）について、認知症予防のための生活習慣についてご講演いただきました。参加者からは、「生活習慣を見直す機会になった」「朝の散歩をこれからも続けていきたい」といった前向きな声が寄せられました。また、「共生社会をつくるのが大事であり、本人のライフスタイルを尊重できるコミュニティ作りが必要だと思った」という地域の将来を見据えた熱い思いもいただきました。推進員として「病気や年齢に関わらず、一人ひとりのライフスタイルを尊重し合えるまち」そんな地域を、これからも皆さんと共に形にしていきたいと考えています。

講演会終了後には、参加者自身のスマホを使って、脳の健康度を知る「のうKNOW」を実施しました。事前予約の15枠は、募集開始後すぐに定員に達し、脳の健康への関心の高さが伺われました。ご自身のスマホを用いて一斉に行う初の試みでしたが、皆さん真剣な表情で取り組まれていました。

手から手へつなぐ想い



認知症サポーターの普及啓発のため、市民や団体の皆さんの協力を得て「ロバ隊長」のストラップ、ぬいぐるみを作成しました。商工会女性部の皆さんによる手作りストラップは、キッズサポーターの証として配布予定です。裁縫が得意な市民が手掛けたぬいぐるみは、窓口で住民の皆さんを温かく迎えています。市民・団体が一体となったこの取り組みは、「互いに支え合う地域づくり」の素晴らしい一歩となりました。これらのロバ隊長は、今後の養成講座や啓発活動に大切に活用させていただきます。



※「ロバ隊長」は認知症サポーターのマスコットです。

～自分でもロバ隊長を作りたい人～
型紙をお渡ししています。ご希望の方は
お気軽にお問い合わせください。

学びがつなぐ～自分にできること～



地域包括支援センターでは、認知症サポーター養成講座のほかにも、認知症への理解を深めるため「出前講座」を随時開催しています。自治会やグループの集まりなど、ご指定の場所へ職員が伺い、分かりやすくお話しします。

また、地域全体で見守る輪を広げるため、協力して下さる「見守り登録事業所」も募集中です。個人でも事業所でも、できることから始めてみませんか？皆さんの力が誰かの安心につながります。

【お問い合わせ】

大口地域包括支援センター ☎ 23-2377

菱刈地域包括支援センター ☎ 26-1307



スマホで読み取ると
過去の記事が読めます

過去の認知症地域支援推進だよりは、伊佐市ホームページでご覧いただけます。